

# ボッチャ体験教室

(平成31年1月22日)

東京オリンピック・パラリンピックに向け、機運醸成を図り、また、障がい者への理解を深め、共生社会の実現に寄与することを目的に、オリンピック・パラリンピック等経済界協議会と連携し、津富浦小学校においてパラリンピック競技であるボッチャの体験教室を開催しました。

まず、リオパラリンピックの様子やボッチャを紹介する動画を上映し、職員によるデモンストレーションを交えた競技の説明を行った後、児童たちに実際にボッチャを体験してもらいました。

対象は5～6年生37名で、各学年4つのチームに分かれ、対戦形式でボッチャを体験しました。

障がいの有無に関わらず、老若男女誰でもできるスポーツということで、皆すぐにルールを覚え、戦略的にゲームを進めたりミラクルスローを連発したり審判を体験したりと、会場は大いに盛り上がり、初体験であるボッチャを楽しんでいました。

体験後、児童からは「とても楽しかった。」「ボッチャについて良く知ることが出来た。」「パラリンピアンのように目標をもって頑張っていきたい。」といった言葉があり、非常に有意義な体験教室となりました。











## 参加児童の主な感想

- ・パラリンピックの動画を見て、障がいをもった人たちのとても前向きな気持ちが伝わってきて、自分も前向きに頑張ろうと思いました。(6年女子)
- ・とても楽しくてあつくなりました。動画を見て、自分の好きなものに向かって輝こうとしている姿はかっこよかったです。(6年女子)
- ・ボッチャは誰にでも楽しめる競技だと思います。今回は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。(6年男子)
- ・ぼくはあまりパラリンピックは見ていないけど、ボッチャのような競技があるので見てみようと思いました。(6年男子)
- ・ボッチャという競技はすごく楽しくて面白くてすごく頭を使って難しかったけど、自分は体育など得意でないのですが、みんなに期待されたりしてよかったと思います。(5年女子)
- ・映像を見たとき涙が出そうになりました。障がいのある方もこんなに楽しそうにやっていて、私もやりたいなとワクワクしました。(5年女子)
- ・ボッチャの動画を見て、障がいのある人でもこんなに楽しめるんだとびっくりしました。障がいのある人もない人も楽しめるボッチャという競技はすごいと思いました。(5年男子)
- ・ぼくは、ボッチャをはじめてやりました。次は家族でやりたいと思います。(5年男子)